

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4271401780		
法人名	有くらはら		
事業所名	グループホーム あざみの里		
所在地	長崎県南島原市深江町戊3124-3		
自己評価作成日	平成 28 年 11 月 30 日	評価結果市町村受理日	平成29年2月 15 日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	http://www.kaigokensaku.jp/42/index.php
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人 ローカルネット日本評価支援機構
所在地	長崎県島原市南柏野町3118-1
訪問調査日	平成29年1月20日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

事業所の理念である「時間をかけて見守り、声かけて付き添う・拘束のない介護・個人生活の継続」利用者の状態、状況に応じた支援を行い、可能な限り、自立支援をして、利用者の尊厳を重んじ、家族の様な雰囲気で接し、安心、安全に毎日を暮らせるように支援している。
 利用者の健康管理に注意し、転倒防止と、病気の早期発見に心がけています。
 ご家族の方が面会に来やすい雰囲気作りと、地域の中でいつでも立ち寄れる開かれた施設作りを目指しています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

当事業所は普賢岳を望むことのできる静かな住環境のもと、自治会に入会し、市民清掃にも協力されたり、ホームでの敬老会を回覧板でお知らせするなどして地域とも関係を深めるよう努められている。
 中学校の職場体験の受け入れや高校生の和太鼓の慰問を受け入れ、入居者が喜ばれている姿が窺える。また、慰問に来た生徒が当ホームへの就職にもつながるなど、良好な職場環境の雰囲気が窺えた。職員は理念に基づき、ゆっくりと時間をかけて入居者を支援するよう努められている。前回の外部評価の指摘事項に関し、薬棚を整備し、服薬の際には二重・三重のチェック体制を取るなど改善に向けた姿勢が窺える。食事の楽しみとして毎月1日と15日には赤飯を用意され、開設当時より毎朝ヨーグルトを用意される等、食事にも配慮されていることが窺える。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印		項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、生き生きと働いている (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない				

自己評価および外部評価結果

ユニット名 あざみの里 本館

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	個人生活の継続の理念のもと、毎週月曜日、朝礼時に唱和を行い、常に念頭に置き、実践につなげている。	開設当時よりの理念を数か所に掲示し、毎週月曜日の朝礼時に唱和されている。理念に基づき、ゆっくり時間をかけて支援され、又、本人の残存機能を生かし、出来る事は入居者にしてもらいながら、支援に努められている。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	自治会に入って、回覧板をまわしたり、地域清掃にも参加し、事業所全体が、地域の一員として、日常的に交流している。	自治会に入会し、市民清掃にも協力されている。地域の敬老会がなくなった為にホームでの敬老会を回覧板でお知らせし賑わいをみせている。中学校の職場体験の受け入れや農業高校の和太鼓の慰問を受け入れ、入居者とのふれあいの場となっていることが窺える。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	施設の行事や、催し物には近隣の方を案内し、食事会や演芸で歓楽されている。地域の方の相談を受け、認知症の人の理解や支援を行っている。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2か月に1回の運営推進会議を開催している。家族、地域の代表と行政職員が参加され、利用者の状態や行事等を報告し、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	運営推進会議の参加者で家族代表や地域代表の中には元消防士や看護師の参加もあり、アドバイスを得る事もある。議題は行事や入居者の状況のほか事故報告等がなされている。会議の結果は広報機関誌で家族へ報告がなされている。	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	市町村担当者と日頃から連絡をとり、事業所の実情を伝え、又、行政の情報ももらい、協力関係を築くよう取り組んでいる。	市の担当者が運営推進会議に参加したり、日頃より交流があり施設の状況や入居者の空室情報について相談や報告がなされている。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	全職員が、身体拘束禁止の対象となる具体的な行為を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	ベッド柵をしない事やセンサーに頼らず職員間で見守る事で身体拘束をしないケアに取り組まれている。言葉づかいにも気を付けられ、又、入居者によってはあまりよそよそしくならないよう話し方を工夫されたり、上から目線にならないように努められている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	管理者や職員は、高齢者虐待防止について、絶対にあってはならない行為を、機会がある事に話し合い、見過ごさないよう注意して、防止に努めている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	管理者、職員は、権利擁護に関する研修会を受講し、職員会議で資料を配布し、学びを共有し、理解に努めている。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	入居時の契約時、重要事項説明書で契約内容を十分に説明を行い、利用者、家族の不安や疑問を尋ねて説明し、ご理解、納得を図っている。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	利用者や家族等の意見は、いつでも管理者や職員に話して頂き、また外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	意見箱を設置されている。家族が来訪された際に家族や入居者から直接意見や要望を聞き取るよう努められている。遠方の家族には便りや預かり金の領収書等を同封して報告し、サインを頂いている。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	代表者や管理者は、職員との信頼関係を築き、意見や提案を聞く機会を設け、話し合いを反映させている。	月1回の職員会議にて職員より意見・要望を聞く機会がある。職員にも議事内容の周知を図ったり、議事録の書記は交代で行なうなどの取り組みがなされている。職員のアイデアを聞き、取り組まれたケースも窺える。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	代表者は、管理者や職員個々の有する能力や実績、勤務状況を把握し、職員がイキイキとやりがいや、向上心を持って働けるよう、職場環境条件の整備に努めている。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	代表者は、管理者や、職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングをしていくことを進めている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	施設授業所の研修を通じ、交流する機会を作り、ネットワークづくりや相互訪問し、意見交換を行い、サービスの質の向上させていく取り組みをしている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	環境の変化により、体調や精神的な不安や、困っていることに耳を傾け、安心を確保するための関係づくりに努めている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	家族の困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾け、信頼関係づくりに取り組んでいる。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	入所後の1か月間程度は、時間をかけて、ゆっくり支援しながら見極め、他のサービスを含めた対応に努めている。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	本人の持てる能力を導き、手伝いや一緒に1日を過ごしながら、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	面会時には、近況を伝えて、家族との絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	知人、友人との面会や、住み慣れた家へのドライブなど、これまで大切にしてきた馴染みの人や、場所との関係が途切れないよう支援に努めている。	入居者の友人や知人が訪ねて来られたり、ドライブをして本人の家へ行かれたり、墓参りでは車の中から手を合わせて支援し、又、家族対応で外出される事もある。手紙や電話の対応にも支援したり、入居者の中には家族の連絡用に携帯電話を所持されている方もいる。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者同士の関係を把握し、共有の場所、座われる場所など考慮し、一人ひとりが孤立されずに、利用者同士が関わりあいを持たれるような支援に努めている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	外部でお会いした時は、挨拶を交わし、近況を伺うなど、これまでの関係を大切に、本人や家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	一人ひとりの思いや暮らし方を尊重し、希望、意向の把握に努めている。必ず言葉かけを行ってから、介護にあたり、表情や身体状況を観察し、本人本位に検討している。	介護記録には入居者の状態を細かに記録されている。話しかける際はゆっくりとした口調で、昔話や衣・食からの思いや要望について聞き取りをされている。又、入居者の状態が変化した際には職員間で本人本位に検討するよう努められている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境を家族から伺い、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	一人ひとりの1日の過ごし方には、個人差があり、心身状態を見ながら、有する力等の現状の把握に努めている。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	月に1回のモニタリングを行い、本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、スタッフ、必要な関係者と話し合い、現状に即した介護計画を作成している。	申し送りノートや介護記録を基に本人・家族の意見や要望を大切に、介護記録を立てられている。又、病気を早期発見する為のプランも取り入れられている。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の様子や、ケアの実践結果、気づきや工夫を個別に記入し、申し送り帳や職員会議帳に残し、職員間で共有しながら、実践や介護計画の見直しに活かしている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、希望に応じた柔軟な支援や、サービスの多機能化に取り組んでいる。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域の小中学校の福祉体験や、自治会との関わりと演芸訪問など、本人が心身の力を発揮しながら、安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人及び、家族の希望を大切に、入居前からのかかりつけの医療機関で、継続受診をされている。かかりつけ医との良い関係を築きながら、適切な医療を受けられるよう支援している。	本人や家族の希望により従前からのかかりつけ医での受診や協力医での受診を支援されている。又、遠方の医療機関の受診は家族により対応がなされるが、その際には日々の健康状態の記録を渡されスムーズな受診につながられている。異常があった場合は家族へ報告されている。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	毎日の利用者の状態や体調は、職員で観察、記録し、訪問看護師等に伝え、個別の利用者が適切な受診や看護を受けられるよう支援している。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	利用者が入院した際、頻回に訪問し、安心して治療を受けられる様に、また早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努め、病院関係者との関係づくりを行っている。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	重度化した場合や、終末期のあり方について、本人や、家族の意向を尊重し、事業所で出来る事を見極め、かかりつけ医との協議し、今後の変化に備えて検討し、家族との話し合いも行い、関係者とのチームで支援に取り組んでいる。	看取りは行われていないが家族と十分に話し合い、最終的には医療機関へつなげているが、それまでは当該ホームで支援されている。「緊急時の対応」の手順を玄関に掲示し、職員と共有して対応するよう努められている。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	利用者の急変や、事故発生時に備えて、すべての職員は、消防署立会いのもと、施設内で訓練をして、実践力を身に付けている。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を日常的に防火管理及び消火、避難訓練等を実施することにより、全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。 また、火災等を未然に防ぐための対策をしている	火災や地震、水害等の災害時に昼夜問わず、緊急連絡網で全員に連絡でき、集まれることと、自治会、地域の消防団に協力要請ができるよう地域との協力体制を築いている。	年2回の火災訓練を職員及び入居者が参加し実施されている。有事の際には町内会長と協力が得られる関係を構築されている。直近12月の訓練時には消防署より自然災害の講和を受けている。	地震と水害についてのマニュアルの整備はあるが更なる充実と、消防署より自然災害についての講義は受けているが、それに基づく訓練実施の検討を期待したい。

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	一人ひとりの人格を尊重し、特に言葉や対応には、十分気を付けて、誇りやプライバシーを損ねない様に対応している。	市で開催されるグループホーム連絡協議会の研修に参加し、接遇マナー研修について受講されている。新人職員については3ヶ月間の研修期間を設け、接遇に対する指導をされている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	日常生活の中で、本人が思いや希望をいつでも表し、自己決定ができるように働きかけている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	職員側の決まりや、都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	外出時は、本人の好みの服を選んで、お化粧もして、おしゃれが出来るよう支援している。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや、力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	入居者は、食事の準備などが年々難しくなっているが、テーブル拭きや箸置き等、本人の残存機能を活かせるように支援されている。入居者と職員と一緒に食事を採りながらサポートがなされている。家族対応で外食される方もいる。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食べる量や、栄養バランス、水分量が1日を通じて確保できるようお好みに合わせて提供し、習慣に応じた支援をしている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後、一人ひとりの口腔ケアを本人の力に応じた口腔ケアを行い、口の中の汚れや臭いが生じないように支援している。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	排泄の失敗や、オムツの使用を減らし、日中はトイレを使用し、布パンツとパットを着用し、トイレ介助を行い、排泄の自立に向けて支援している。オムツの必要な方は、夜間のみ使用している	排泄チェック表をもとに、昼間は時間を見てトイレで排泄できるよう支援に努められている。排泄失敗時にも職員のさりげない声かけで羞恥心に配慮しながら対応するよう努められている。開設当時より毎朝の食事にはヨーグルトが用意されている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	便秘の原因や及ぼす影響を理解し、運動やマッサージの働きかけ等、又、個別にヨーグルトを提供したり、食事や飲み物の工夫をして、予防に取り組んでいる。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	一人ひとりのタイミングに合わせて、入浴を楽しめるよう、利用者と話をして、個々に応じた入浴の支援をしている。	入浴は週3回、午前中に対応されるが入居者により時間を変えたり、その方の希望に合わせた温度で対応されている。入浴後は病院やホームで用意された保湿剤が用意されている。脱衣所には冬はヒーター、夏は扇風機を用意されている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	一人ひとりの生活習慣を尊重し、状態に応じた休息や、安眠を安心して気持ちよく眠れるよう支援している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	一人ひとりが使用している薬の目的や副作用について、医師や薬剤師に確認しながら、職員間でも理解を深め、服薬の支援をしている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごとで、食後の片付けや、洗濯物たたみ、カラオケなど気分転換が出来るよう支援している。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるよう支援している	ドライブや外気浴、施設周辺を散歩したり、普段は行けない場所でも、一人ひとりの希望にそって支援したり、家族と外出したり、地域の人々と協力しながら出かけるよう支援している。	ホーム周辺を散歩する際には周辺の方が見守りをされている事もある。病院の帰りには希望があれば買い物をされる事もある。馴染みの美容院へは職員や家族が対応されたり、ホームで職員が整容する事もある。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持して、買い物など楽しめるよう支援している。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	家族や友人へ、本人から電話したいと希望の時は、電話をかけてもらい、手紙もやり取りができるよう支援している。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共用の空間が、利用者にとって不快や混乱を招くような、刺激がないよう、プライバシーを損なわない様に配慮し、生活感や季節感の生け花を採り入れ、居心地良く過ごせるよう工夫している。	共用部分は全てフローリングで広々としており、両ユニット共に畳の間があり、入居者がゆっくりとくつろがれている姿が窺えた。又、天窓から日が差し込み明るい雰囲気である。共用空間には入居者が外出された際の写真が掲示されており、季節毎の飾り付けもなされている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	共用の空間で、独りになれたり、気の合った利用者同士で過ごせるような場所の工夫をしている。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室は、本人が使い慣れたものや、好みのものを活かして、本人が居心地良く、又、自分の時間を楽しく過ごされるよう工夫をしている。	居室はベッドや押し入れの設置があり、入居者によりトイレや畳の部屋が使用されている。又、必要に応じポータブルトイレを用意されている。入居者は使い慣れた家具や好みの物や写真を飾り付けされている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	建物内部は、全てフラットのフロアーにして、一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして安全に本人が自立した生活を送れるよう、見守り支援している。		

自己評価および外部評価結果

ユニット名 あざみの里 新館

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	理念を目に付く場所に掲示しており、常に意識して介護に取り組んでいる。		
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	敬老会などの行事には、地域の方々に来て頂き、町内清掃には必ず参加している。小中学校との交流もある。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	中学校の福祉体験などで、認知症の方々の理解につながるよう努力している。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2か月に1回実施し、取り組み、状況について報告して話し合い、今後の対応やサービス向上につなげている。		
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	研修等に参加し、情報交換などを行い、積極的に取り組んでいる。		
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	基本的に身体拘束をしないケアを取り込み、やむを得ない場合は、拘束委員会を立ち上げ、ご家族の同意を得て対応している。		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃されることのないよう注意を払い、防止に努めている	研修などで、学ぶ機会を持ち、注意を払い、防止に努めている。		

8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	権利擁護に関する研修会を受講し、職員間で学びを共有し、理解に努めている。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	入居時の契約時、重要事項説明書で契約内容を十分に説明を行い、理解、納得の上でサインをもらっている。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	意思表示ができる利用者様からの意見、要望をお聞きし、納得して頂ける様な説明している。ご家族の方からは、面会時等、意見を伺い、その都度対応している。		
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	月に1度の職員会議などで意見等ないか聞いてあれば対応している。		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	各自が向上心を持って働ける様、スキルアップも支援されている。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	全員参加は無理だが、積極的に参加し、知識の共有に努めている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	交流を持ち、勉強会などの活動を通して、サービスの質を向上させていく取り組みをしている。		

Ⅱ. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援

15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	環境の変化により、体調や精神的な不安や困っていることに耳を傾け、安心を確保するための関係づくりに努めている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	ご家族の困っている事、不安な事、要望等に耳を傾け、信頼関係づくりに努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	入所後の1カ月程度はゆっくり時間をかけて見極め、他のサービスも含めた対応に努めている。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	利用者の昔話など引き出し、出来ない事を支援していくようにしている。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	本人と家族のきずなを大切にしながら、面会時にはゆっくりと話をしてもらえる様支援している。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	本人希望で、行きたい場所、昔行っていた所がある場合、出来るだけ支援している。		
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	入居者同士、交流が持てる様支援している。入所始めは、一人になられない様、お友達作り等のお手伝いをしている。		

22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	サービスが終了しても、ご家族が何でも気軽に相談していただける様、フォローし、支援に努めている。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	一人ひとりの思いや暮らし希望を聞き、その方に寄り添う支援をしている。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ご本人やご家族の方から、生活歴や生活環境を伺い、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	一人ひとりの1日の過ごし方には個人差があり、状態変化があれば、その都度対応して現状の把握に努めている。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ご本人やご家族からの要望があれば、取り入れながら、ケアプランを作成している。状態変化による見直しを対応している。		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	毎日一人ひとりの個人誌に記録し、職員間で情報を共有している。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	ご本人やご家族の状況、要望に応じて、その人に合った支援に取り組んでいる。		

29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	小学校の訪問や中学生の福祉体験、自治会との関わりと演芸訪問などで、心が和み、楽しく生活できる様、支援している。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	かかりつけ医に、定期的に受診行い、緊急時等の対応が出来る様支援している。		
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	訪問看護師に利用者の状況を報告して、相談している。適切な受診や看護が受けられる様支援している。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	利用者が入院された際、出来るだけ早期退院できる様、情報交換等に努めている。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	ご本人、家族の方の意向を尊重し、出来るだけのケアを行うが、医療的な処置が必要な場合は、家族、主治医と相談する。		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	消防署の救急救命の講習を受けており、急変や、事故発生時、対応できる様、備えている。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を日常的に防火管理及び消火、避難訓練等を実施することにより、全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。 また、火災等を未然に防ぐための対策をしている	定期的に避難訓練を行い、地域の消防団とも、協力体制を築いている。		

IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	言葉かけには十分注意をしている。誇りやプライバシーを損ねない様、心がけている。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	日常生活で出来る事は、声かけ自己決定できる様に努めている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一人ひとりのペースを大切に、その方の希望にそって支援に努めている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	利用者の希望で、理・美容院へ連絡したり、職員が整容に努めている。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	旬の野菜などを取り入れ、食事に出したりしている。		
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	一人ひとりの状態にあった盛り付けをしている。水分補給に努め、水分不足にならない様努めている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	食後の口腔ケアは出来る所まで、して頂き、残りは支援している。義歯については定期的に洗浄剤等で清潔に心がけている。		

43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	出来るだけ布パンツで過ごして頂き、一人ひとりの排泄のパターンを把握し、排泄はトイレで済まされる様支援している。		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	毎朝、ヨーグルトを提供し、水分補給にも努めている。お腹のマッサージなどして、便秘予防に努めている。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	週3回の入浴日に、利用者の体調をみて、支援している。		
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	全室個室なので、休息したり、安心して眠られる様、支援している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	個人誌にお薬リストをはさんだり、薬手帳に貼りつけたりして、職員間でいつでも確認できる様にしている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	お手伝いをして頂いたり、張り合いや喜びを感じて、頂ける様支援している。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	ドライブに出掛けたり、要望があれば、ご家族の方と外出をされたりと支援している。		

50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>出来る方は、ご自分で管理して頂き、他の方は施設で管理している。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている</p>	<p>ご本人の希望時、職員がおかけして、取り次ぎお話して頂いている。手紙をポストに入れたりの支援をしている。</p>		
52	(19)	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>利用者が居心地よく過ごされる環境づくりに取り組んでいる。</p>		
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>共用空間のリビングでは、皆さんが心地よく楽しく過ごされる様、安全面にも気を付け支援している。</p>		
54	(20)	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>使い慣れた馴染みの物を置いたり、ご家族の写真を貼ったりして、安心して過ごされる様に努めている。</p>		
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>各所に手すりを設置しており、トイレ、お風呂は、分かりやすい様、工夫して表示をしている。</p>		